

III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	デザインと看護の連携によるウェルネス科学の推進
酒井 正幸	動物園のグランドデザイン ユニバーサルデザイン研究
城間 祥之	高齢者とロボットとの会話によるコミュニケーションの可能性に関する研究 －北海道弁による会話プログラムの構築－
中原 宏	札幌市における都市機能の多様性に関する研究
原田 昭	札幌市立大学の国際関係事業の展開と、産学公連携事業の展開
小西 敏正	建築構法の時代・地域特性
石井 雅博	視覚認知に関する研究
石崎 友紀	工学的性能、審美的性能、情緒的性能の可視化 道具学探求 地域様式デザイン研究 造形教育
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識研究
齋藤 利明	オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	北国におけるプロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	ソーシャルメディア時代(大規模社交環境)におけるビデオ広告のストーリーテリングと拡散手法に関する研究-Relevance Modelの生成について
羽深 久夫	1)北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 2)米国・東欧・北欧及び東アジア(韓国・台湾)における木造建築の保存・再生・活用 3)日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 4)世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	1)ドイツと日本における無子の増加に関する研究(継続) 2)超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン(継続) 3)震災に関わる地域人口への影響評価・復興モデルの検討(継続)
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
望月 澄人	CG作品、アニメーション・実写合成映像の制作
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI(ビジュアル・アイデンティティ)の役割とその生成について
吉田 恵介	地域資源の評価とランドスケープデザイン
柿山 浩一郎	PCを用いた教育システム(eラーニング)の質の向上～リアルタイム集団評価～
斉藤 雅也	寒冷地建築の熱性能と住まい手の想像温度の関係

教員名	研究課題
武田 亘明	クリエイティブ人材育成の実践的学びの場のデザイン
張 浦華	形態の感性評価の相関要因に関する研究
町田 佳世子	1)コミュニケーション能力の構造と評価方法の研究 2)「伝えるコミュニケーション」に関する研究
石田 勝也	研究1. サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築 研究2. コンテンツ産業における地域プロモーションの研究
上田 裕文	震災復興の風景計画に関する研究
大淵 一博	デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究
片山 めぐみ	文化資源としての野生動物の展示利用—その展示効果と利用に関わる諸問題
小宮 加容子	身体・精神の発達に応じた使いやすく魅力のある形に関する研究
福田 大年	ワークショップの活動を基盤としたアイデア発想能力の向上におけるプロトタイピングの可能性に関する研究
松井 美穂	アメリカ南部文学における Whiteness/Blackness
三谷 篤史	木の感性性能を生かしたメカトロ積木の開発
山田 良	環境デザイン(環境芸術・ランドスケープデザイン)の地域に果たす役割に関する研究
須之内 元洋	オンライン音響編集プラットフォームを活用したサウンドスケープ活動の展開、及び音響パターン認識技術の研究
長谷川 聡	産学連携によるキッズデザイン～地域貢献・学生支援活動としての24時間TVのオブジェデザイン～

看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	大学院教育における高度実践看護に関する研究
樋之津 淳子	基礎看護技術と臨床教育をつなぐ卒後研修プログラムの開発
スーディ神崎 和代	ICTを用いた遠隔看護(E-KANGO)に関する研究 地域在住高齢者の転倒リスクに関する研究
宮崎 みち子	胎児の生きる権利に関する研究
猪股 千代子	統合医療の看護教育・看護管理に関する研究
内田 雅子	1)慢性期看護、2)事例研究法、3)看護職キャリア形成プロセス
河野 總子	呼吸ケアにおける看護師の裁量権の見直しと拡大可能性
河原田 まり子	ソーシャルキャピタルを活用した地域保健活動の推進
坂倉 恵美子	1)老人福祉センター利用者の生活実態と主観的幸福感 2)閉じこもり高齢者のスクリーニング尺度の作成と訪問介入プログラムの開発
定廣 和香子	看護学実習における医療事故防止に向けた教授活動自己評価尺度の開発
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用
山本 勝則	精神看護学におけるシミュレーション教育

I 概要

II 教育活動

III 研究活動

IV 社会活動

V キャリア支援活動

VI 入学者選抜結果

VII 附属図書館

VIII 役員会、経営審議会
及び教育研究審議会

IX 学内運営の概要

X 資料

XI 教員業績一覧

教員名	研究課題
大野 夏代	1) マッサージなど看護技術に関する研究 2) 国際的研修活動の計画や評価に関する研究 3) シャトル研修等、キャリア支援に関する研究
貝谷 敏子	高度褥瘡管理技術としての特定行為を臨床導入し定着させるためのプロセスモデルの構築
菊地 ひろみ	在宅看護サービスによる在宅療養者の病状安定および重症化予防の対医療費効果に関する基礎的研究
清水 光子	保健師の専門性に関する研究 官学民連携による地域に根ざした健康教育演習の実際と学習効果
菅原 美樹	救急・クリティカルケア看護師の職務レジリエンス能力評価尺度の開発
村松 真澄	全国の新生児集中治療室(NICU)の看護管理者を対象に口腔ケアに関する看護管理的な取り組みの実態調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究(主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究)
山田 典子	セーフティプロモーション(SP)/セーフコミュニティ(SC)に関する外傷予防活動
吉川 由希子	コンピテンシーの概念分析
太田 晴美	災害看護に取り組む看護師支援に関するアクションリサーチ
神島 滋子	高次脳機能障害を抱える人と生活する家族の困難 看護学生の「リハビリテーション看護」に対する認識の様相
櫻井 繭子	産業保健専門職に関する研究 官学民連携による地域看護教育に関する研究
杉田 久子	臨床看護実践における知の構築プロセスの研究(継続) ～看護師の「知」に基づく看護実践の可視化～ ～臨床新人看護師の「知」の語り～
田中 広美	看護技術に関する研究
原井 美佳	1) 前期高齢者である女性の加齢に伴う尿失禁のリスク要因の解明 2) 高齢女性の通常歩行時に身体が受ける振動と老年症候群との関連についての検討
藤井 瑞恵	成人看護学領域における臨床看護師との連携による技術演習の効果
山内 まゆみ	1) 助産師基礎教育の「職業準備性」を高める教育技法の検証(研究期間：平成22年度から平成24年度) 2) 助産学専攻科学生を対象とした「私はこんな助産師になるぞ!」プロジェクト学修への効果検証を実施する。 3) 助産学専攻科OSCEの運営と効果
山本 真由美	助産師の可視化されにくい業務の実態調査
渡邊 由加利	1) 妊娠期にある女性の心理・社会的適応に向けた夫婦間のコミュニケーション支援モデルの検討 2) 助産学におけるOSCEの方法と信頼性の検討 3) Concept Analysis of Nursing Competency from Japanese Perspective
工藤 京子	呼吸器疾患患者が自律して社会生活を営む上での患者会の役割
多賀 昌江	死産児出産の悲しみを癒す棺の感性デザインに関する研究
鶴木 恭子	基礎看護技術に関する基礎的研究

教員名	研究課題
照井 レナ	訪問看護師の医行為における裁量に関する研究 在宅ケア従事者が連携して行うMulti-discipline型、かつ計画と評価に関わる自己主導型学習活動システムの構築 ICT活用による遠隔看護サービス(E-KANGO)研究
坂東 奈穂美	看護師と看護補助者のケア協働システム構築への取り組み -看護補助者の現状と課題-
三上 智子	看護基礎教育における小児看護学OSCEの展開
柏倉 大作	周手術期における患者の栄養状態と術後経過不良に関する研究
田仲 里江	保健師のストレスに関する研究
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防対策に関する研究
鈴木 ちひろ	月経前症候群の症状が看護職者に与える影響
星 幸江	精神科長期入院患者の退院支援の実態と地域における支援の可能性

I
概要II
教育活動III
研究活動IV
社会活動V
キャリア支援活動VI
入学者選抜結果VII
附属図書館VIII
役員会、経営審議会
及び教育研究審議会IX
学内運営の概要X
資料XI
教員業績一覧